

令和6年12月 斐伊川水系水質情報

令和6年12月(宍道湖2日・中海9日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.8	△	平年並み	4.0	×	やや高い	4.5	△	平年並み
全窒素	上層	0.55	△	平年並み	0.44	△	平年並み	0.53	△	平年並み
全リン	上層	0.032	△	平年並み	0.050	×	やや高い	0.052	△	平年並み
Chl-a	上層	34	△	平年並み	31	☆	かなり高い	24	△	平年並み
塩化物イオン	上層	1,970	△	平年並み	10,800	△	平年並み	7,620	△	平年並み
	下層	2,250	△	平年並み	15,300	△	平年並み	11,100	△	平年並み
溶存酸素	上層	13.4		やや高い	10.1		平年並み	11.9		平年並み
	下層	11.3		平年並み	3.7		平年並み	8.5		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.0	やや上昇	3.8	横ばい	4.9	横ばい
全窒素	上層	0.58	横ばい	0.41	横ばい	0.37	やや上昇
全リン	上層	0.025	横ばい	0.036	上昇	0.035	やや上昇

宍道湖の透明度は2.4mから1.6mと下降し、平年並み。中海の透明度は2.6mから1.9mと下降し、平年並み。米子湾の透明度は1.9mから2.0mと横ばいで、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%